

請求日 令和 ●年 ●月 ●日

（宛先）交野市長

施設等利用費請求書（記入例）

幼稚園・認定こども園・特別支援学校幼稚部の預かり保育事業の施設等利用費

【令和 ●年 ●月～令和 ●年 ●月分請求用】

〈補足説明（利用年月）〉

請求は3か月分の利用をまとめて行います。記入例は、「1～3月分」の請求時のものです。

以下、請求書の「記載例」と「補足説明」を記載しています（裏面あり）。
補足説明は、特に注意すべき点を中心に記載しています。
なお、「在園施設」とは在園中の幼稚園・認定こども園と読み替えてください。

捨印

印

（申請者印と同じ）

両方に押印してください

記載誤り等があった際は、再提出をいただきます。

1. 申請者（保護者）（氏名欄には、振込口座の口座名義人と同

フリガナ	カタノ イチロウ	生年月日		申請者印
氏名	交野 一郎	現住所	交野市私部1丁目1-1	印
	（児童との続柄 父）	電話	072-●●●●-●●●●	

〈補足説明（申請者印及び捨印）〉
同じ印鑑を押印してください。

補足説明（1. 申請者）

申請される保護者（＝申請者）についてご記入ください。
申請者は「請求金額の振込先」の振込口座名に記載する方と同一人物にしてください。

2. 施設利用する児童（認定こども）

フリガナ	カタノ タロウ
児童名	交野 太郎
生年月日	平成 ●年 ●月 ●日
認定区分	☒ 新2号 ☐ 新3号
請求期間における転入・転出	
☐ 転入した ☐ 転出した	
転入または転出日	令和 年 月 日

補足説明（2. 施設利用する児童）

利用した児童についてご記入ください。
①認定区分は、該当箇所に✓を入れてください。
②請求期間内に市内転入、市外転出した場合のみ
✓をいれて「転入または転出日」を記載してください。
請求期間内に転入出されていない場合は、
記入不要です。

3. 在園する施設（幼稚園・認定こども園・特別支援学校）

フリガナ	●●●●
施設名	●●●● 幼稚園 認定こども園 支援学校
請求期間の在園状況	
☐ 期間中在園 ☐ 途中入園した ☐ 途中退園した	
途中入園・退園した日	令和 年 月 日

補足説明（3. 在園する施設）

在園施設についてご記入ください。
①施設名を記入し、該当する施設区分（幼稚園、認定こども園等）に○を付けてください。
②在園状況は、利用期間内に途中入園、途中退園した場合のみ、その年月日を記入してください。

〈裏面に続く〉

4. 施設等利用費の請求額（内訳） ※新2号認定の場合の記入例

利用年月	「在園する施設」の預かり保育事業					認可外保育施設等の利用(※1)	請求額
	a		b		c	d	「c+d」と月額上限額(※2)を比較し、低い方を記入
	預かり保育利用料	利用日数	対象額 (450円×利用日数)		aとbの金額の低い方を記入	認可外保育施設等利用料	
令和 ●年 1 月	7,500 円	20 日	9,000 円		7,500 円	0 円	7,500 円
令和 ●年 2 月	7,500 円	15 日	6,750 円		6,750 円	0 円	6,750 円
令和 ●年 3 月	7,500 円	20 日	9,000 円		7,500 円	5,000 円	11,300 円
請求額合計(3ヶ月分)							25,550 円

補足説明（4. 施設利用する児童）

「a」欄： 提供証明書兼領収証に記載の預かり保育料（特定費用除いた保育分のみ）を記入してください。
 預かり保育料8,000円、内、特定費用500円の場合 ⇒ 7,500円（預かり保育料）

「b」欄： 利用日数と、対象額（利用日数に1日利用額450円を乗じた金額）を記入してください。
 月極利用の場合も、利用日数と対象額を記入してください。

「c」欄： 「a」と「b」の金額を比較し、低い額を記入してください。
 記入例では、2月のみ「a」7,500円より「b」6,750円が低いため、「c」には6,750円を記入。

「d」欄： 認可外保育施設等を利用した場合のみ記入してください（証明書の添付必要、以下の◆箇所を参照）。

請求額： 「c+d」を足した金額と、月額上限額を比較し、低い額を記入してください。
月額上限額は、新2号認定は11,300円、新3号認定は16,300円です。
 記入例では、3月のみ「c+d」が12,500円になり、新2号認定の上限額11,300円の方が低くなります。

◆「認可外保育施設等の利用」欄に金額を記載する場合は、在園施設の開所日数等の条件が必要です。交野市内の施設はこれらの条件に該当しませんので、市内施設に在園している場合は、0円を記入してください。
 開所日数等の条件は、「6. 在籍園の預かり保育事業以外に認可外保育施設等の償還払いを受けることができる場合は記入」の補足説明（※1）をご覧ください。

5. 請求金額の振込先（口座名義は申請者名と同一のものに限ります。異なる場合は支払いできません。例：× 申請者-母、口座-父）

◆①～③のいずれか一つにチェックください。

☐ ①過去に、預かり保育料の無償化分の振込先として指定した口座（振込先の口座情報を記入していただく必要はありません。）
 （きょうだいの請求の際に振込先として指定した口座を希望する場合も、①にチェックしてください。）

☐ ②下記の口座（以下に振込先の口座情報を記入してください）

金融機関名		預金種目	☒ 普通 ☐ 当座							
●●	銀行・信用金庫	●●	支店							
	農協・信用組合	(★)	出張所							
			口座番号	1	2	3	4	5	6	7
			口座名義(カタカナ)	カタノ イチロウ						

★過去に公金受取口座として指定した口座に記入してください。

☐ ③マイナカードで支払う（※3）公金受取口座（※3）公金受取口座に記入してください。

補足説明（5. 請求金額の振込先）

口座名義は申請者と同一のものに限ります。異なる場合はお支払できません。

【ゆうちょの方へ】

(★)欄は店名（漢数字3桁）を記入してください。

6. 在籍園の預かり保育事業以外に認可外保育施設等の利用費の償還払いを受けることができる場合のみ記入(※4)

◆①～⑥に書き切れない数の施設・事業を利用した場合は、余白等に記載して下さい。

①	フリガナ	●●ホイクエン	所在地	〒 (施設住所、施設の電話番号を記載) 電話：
⑥	施設・事業名	●●保育園		

※申請書(原本)には、①～⑥まで6施設(事業名)まで記入できる欄があります。

補足説明（6. 在籍園の預かり保育事業以外に認可外保育施設等の利用費の償還払いを受けることができる場合のみ記入）

利用する施設・事業名、所在地等を、利用施設（事業名）ごとに記入してください。

(※1)「在籍園の預かり保育事業以外に認可外保育施設等の利用費の償還払いを受けることができる場合」とは、在籍施設の預かり保育事業が、次の①②のいずれかに該当する場合です。

①教育時間を含む平日の預かり保育の提供時間数が8時間未満
 ②（平日・長期休業・休日を合計した）年間開所日数が200日未満
 ⇒交野市内の施設は、設定時間・日数が「8時間以上」又は「200日以上」のため、上記①②の条件に該当しません。